

# 令和5年度事業実績について

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 1 事業活動概況

県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、健（検）診・検査、健康づくり支援事業、普及啓発等の各種事業のより一層の質の向上と充実に取り組んだ。

また、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取り組み、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取り組み等を推進した。

## 2 各事業概要

### (1) 健（検）診・検査事業

#### ① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施した。

#### 主な健（検）診・検査

(単位：件)

項目	5年度 実施数(A)	4年度 実施数(B)	増減 A-B
特定健康診査	20,062	20,047	15
特定保健指導	308	326	△ 18
胸部X線検査	56,631	57,867	△ 1,236
（結核健康診断）	(26,499)	(26,959)	(△ 459)
（結核健康診断＋肺がん検診）	(26,059)	(26,510)	(△ 451)
（肺がん検診）	(4,073)	(4,398)	(△ 325)
がん検診	86,292	86,383	△ 91
胃がん検診	10,541	10,997	△ 456
肺がん検診	30,132	30,908	△ 776
（結核健康診断＋肺がん検診）	(26,059)	(26,510)	(△ 451)
（肺がん検診）	(4,073)	(4,398)	(△ 325)
低線量肺がんCT検診	11,641	11,564	77
大腸がん検診	13,299	13,271	28
子宮頸がん検診	8,196	7,697	499
乳がん検診	6,065	5,494	571
前立腺がん検診	6,418	6,452	△ 34
胃がんリスク検査	1,203	1,897	△ 694
腹部超音波検診	884	904	△ 20
骨粗鬆症検診	1,311	1,287	24
合計	136,559	137,803	△1,244

※ ( )内の件数については、重複となります。

※ 合計の実施数には、肺がん検診の実施件数は重複するため、含んでいません。

## ② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、労働者の健康増進に取り組んだ。

### 主な健（検）診・検査

(単位：件)

項 目	5年度 実施数(A)	4年度 実施数(B)	増減 A-B
特定健康診断	524	867	△ 343
特定保健指導	766	729	37
結核健康診断	5,076	5,186	△ 110
一般健康診断	53,105	52,180	925
生活習慣病予防健診(協会けんぽ)	11,187	10,137	1,050
特殊健康診断	4,849	5,149	△ 300
じん肺健康診断	418	633	△ 215
石綿健康診断	59	47	12
有機溶剤健康診断	1,457	1,465	△ 8
鉛健康診断	35	36	△ 1
電離放射線健康診断	1,136	1,066	70
特定化学物質健康診断	1,744	1,902	△ 158
指導勧奨による特殊健康診断	1,697	1,746	△ 49
情報機器作業健康診断	491	598	△ 107
騒音作業健康診断	10	10	0
振動業務健康診断	1,126	1,068	58
沃素健康診断	70	70	0
がん検診	35,857	34,533	1,324
胃がん検診	11,397	11,037	360
肺がん検診	480	476	4
低線量肺がんCT検診	1,784	2,152	△ 368
大腸がん検診	14,334	13,475	859
子宮頸がん検診	3,449	3,118	331
乳がん検診	2,061	1,904	157
前立腺がん検診	2,352	2,371	△ 19
腹部超音波検診	1,755	1,842	△ 87
骨粗鬆症検診	1,008	710	298
合 計	115,824	113,079	△2,745

- ・一般健康診断（雇入時・定期・特定業務従事者）
- ・一般健康診断及び生活習慣病予防健診（協会けんぽ）には、胸部X線検査も含まれます。

### ③ 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、結核健康診断、小児生活習慣病予防健診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に努めた。

(単位：件)

項目	5年度 実施数(A)	4年度 実施数(B)	増減 A-B
結核健康診断	10,372	10,106	266
寄生虫卵検査	2,961	3,943	△ 982
尿検査(腎臓病、糖尿病検査)	97,736	99,004	△ 1,268
心臓検診	7,642	7,670	△ 28
学校貧血検査	18,104	18,544	△ 440
小児生活習慣病予防健診	2,573	2,791	△ 218
合計	139,388	142,058	△ 2,670

### ④ 母子保健

新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療を目的に、タンデムマス法による新生児マススクリーニング検査を実施した。

令和2年度より、検査対象疾患を拡大し、重症複合型免疫不全症とライソゾーム病の検査を有料事業(個人負担を要する検査)として開始した。

また、令和4年度は宮崎大学と連携し、パイロット事業として、脊髄性筋萎縮症検査を実施した。

※令和5年度より脊髄性筋萎縮症検査を有料事業(個人負担を要する検査)として開始した。

(単位：件)

項目	5年度 実施数(A)	4年度 実施数(B)	増減 A-B
先天性代謝異常等検査	7,653	8,451	△ 798
拡大検査	6,033	重症複合型免疫不全症	△ 596
		ライソゾーム病	
		脊髄性筋萎縮症検査(SMA)	(4,709) (1,324)

### ⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックを実施した。

(単位：件)

項目	5年度 実施数(A)	4年度 実施数(B)	増減 A-B
人間ドック	1,112	1,038	74

## ⑥ その他

給食従事者の検便や就職・進学時に必要な診断書作成の為に健康診断を実施した。

(単位：件)

項目	5年度 実施数(A)	4年度 実施数(B)	増減 A-B
腸内細菌検査	22,108	22,882	△ 774
クリニック	476	567	△ 91

## (2) 精度管理の強化

### ① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的を開催している。

<各種専門委員会（9部門）>

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

### ② がん検診の精度管理

がん検診の精度管理を図るために、検査結果の調査を行い、がん検診の精度必要な指標の取りまとめを行った。

(令和5年度 各がん検診のプロセス指標値)

項目	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
検診受診者数(人) A	21,940	30,555	13,439	27,635	8,127	11,645
要精検者数(人) B	660	663	275	1,720	285	200
要精検率(%) B/A	3.01	2.17	2.05	6.22	3.51	1.72

(令和4年度 各がん検診のプロセス指標値)

項目	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
検診受診者数(人) A	22,039	31,381	13,722	26,749	7,401	10,819
要精検者数(人) B	685	589	266	1,733	299	258
要精検率(%) B/A	3.11	1.88	1.94	6.48	4.04	2.38
精検受診者数(人) C	559	532	240	1,094	277	205
精検受診率(%) C/B	81.61	90.32	90.23	63.13	92.31	79.46
発見がん数(人) D	17	20	12	38	42	2
がん発見率(%) D/A	0.08	0.06	0.09	0.14	0.57	0.02
陽性反応的中度(%) D/B	2.48	3.40	4.51	2.19	14.05	0.78

＜参考＞各がん検診におけるプロセス指標 許容値 (単位：%)

項 目	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	11.0 以下	3.0 以下	7.0 以下	11.0 以下	1.4 以下
精検受診率	70.0 以上	70.0 以上	70.0 以上	80.0 以上	70.0 以上
がん発見率	0.11 以上	0.03 以上	0.13 以上	0.23 以上	0.05 以上
陽性反応的中度	1.0 以上	1.3 以上	1.9 以上	2.5 以上	4.0 以上

※厚生労働省：今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）より

＜参考＞ 日本対がん協会まとめ全国平均（令和4年度） (単位：%)

項 目	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	5.0	1.9	1.9	5.4	4.1	1.4
精検受診率	77.7	81.1	90.2	65.5	88.1	83.1
がん発見率	0.10	0.04	0.09	0.16	0.29	0.01
陽性反応的中度	1.92	2.26	4.51	2.94	6.97	0.89

### ③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器がん検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加した。

また、令和5年度は職員2名が「日本乳がん検診精度管理中央機構」の認定資格（マンモグラフィ1名、乳房超音波1名）を取得した。今後も各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、未取得者については、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」「細胞検査士」「超音波検査士」などの認定資格等の取得を目指していく。

### (3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県の健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開した。

#### ① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援した。

## ② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていった。

内 容		5年度実施数（人）	4年度実施数（人）
特定 保健指導	動機付け支援	549人	541人
	動機付け支援相当	37人	40人
	積極的支援	488人	474人
一般保健指導		133人	226人
講師派遣による健康講話		3,758人（86回）	2,990人（75回）

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内 容：「糖尿病予防」について

「小児生活習慣病予防」について

「生活習慣病予防」について

「ストレスコントロール」について

「簡単にできる運動・肩こり・腰痛予防改善、親子で楽しむ運動」について

「野菜摂取向上など食生活」について 等

## ③ 電話勧奨事業

令和5年度は市町村からの要望がなく実施には至らなかったが、令和6年度の実施に向け、市町村に当事業についての再案内を行い、1町から申し込みがあった。令和6年度にモデル事業として実施する予定である。

## （4）普及啓発等

県民が主体的に健（検）診を受診し、生活習慣を改善するなどの行動を積極的に実践できるよう、県民に対し、健（検）診の啓発活動に取り組んだ。

### ① 健康情報の発信

1) 協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への情報発信を強化した。

令和5年度ユーザー数：86,624件（令和4年度114,267件）

2) 広報誌「サンテ宮崎」（年3回：各4,000部）の内容をさらに充実し、健康情報を発信した。各号を約700か所に送付した。

3) テレビ・ラジオ・新聞等による情報発信（番組出演・CM、情報提供）

・受診勧奨のためのテレビCM（箱根駅伝内、ヨガ番組内）を放映した。

・宮崎ケーブルテレビ「マックン情報局」に出演し、健康情報発信した。

・健康情報発信のためMRTラジオ（ミュージックサプリ内CM）を放映した。

・MRTラジオ「スクーパー」に年4回出演し健康情報を発信した。

4) 新聞、機関誌等による広告や情報発信

・新聞広告 「子宮の日」「世界禁煙デー」「県政新聞」「世界糖尿病デー」

・機関誌・新聞記事 「宮崎商工会議所ニュース」「宮崎市エンジョイマラソン」「宮崎日日新聞 それ実は〇〇ですか」で健康情報を発信した。

## ② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

### 1) 県民向けの健康講演会や健康チェック等のイベントの開催

#### ◆Karada Good Miyazaki フェスタ 2023

被扶養者の受診率向上を目指して、家族でイベントに行くついでに特定健診やがん検診を受診できるようにイベント当日の午前中に健（検）診を行った。フェスタ会場（JA アズム）では健康チェック（握力・立ち上がりテスト等）やパネル等を行った。

開催日時 令和5年11月5日（日）10：00～16：00

来場者数 約5,000名

受診者数 84名（特定、後期、協会けんぽ、各種がん検診等）

内 容 からだグッド健診（イベントとコラボした健診）

パネル展示やからだチェック（握力・アルコールパッチテスト）

### 2) 市町村、職域、学校の健康管理担当者向けの研修会の開催

#### ◆第22回 健康づくりセミナー

開催日時 令和6年2月14日（水）13：00～15：30

講 演 「みなさん 運動（take a break）しませんか？」

かい整形外科 健康運動指導士 伊豆 博明 氏

特別講演 「がんが教えてくれたこと～自分に向き合って見つけた夢～」

シンガー 木山 裕策 氏

事業報告 宮崎県健康づくり協会 常務理事 湯田 敏行

参加者数 84名

## ③ 他団体との連携による啓発

・小林市立小林小学校の「こば小 けんこうフェア」に参加した。

学校保健活動の一環で、親子80組の参加があり、乳がんモデル体験や健康について啓発した。

## ④ 上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

### 1) （公財）結核予防会

#### ◆結核予防週間（9月24日～30日）

・結核に関する正しい知識の普及啓発を図るため結核予防会作成の周知ポスターやパンフレット「結核の常識」等を県内約700か所に送付した。

・世界禁煙デー（5月31日）に伴う禁煙ポスターを約150か所に送付した。

・結核予防普及啓発支援のため令和5年8月23日に知事表敬訪問を行った。

・イオンモール宮崎と延岡にて街頭キャンペーンを開催し募金活動を行った。

令和5年度募金額 1,558,140円（令和4年度募金額 1,441,264円）

- ・全国一斉複十字シール運動キャンペーン」（期間：8月1日から12月31日）では、結核予防の大切さを啓発しながら募金活動を行った。

## 2) (公財) 日本対がん協会

### ◆がん征圧月間（9月）

日本対がん協会が毎年9月を「がん征圧月間」と定め、がんに関する正しい知識やがん検診の重要性などを集中的に訴える活動期間としており、当協会も啓発活動を行った。

- ・イオンモール宮崎、延岡にて街頭キャンペーンを開催した。  
(がん啓発リーフレット、啓発グッズ等を各300セット配布)
- ・市町村・学校・事業所に啓発ポスターを700か所に送付し啓発を行った。
- ・宮崎日日新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞4社にがん啓発の記事と広告を掲載し、朝日新聞特集では日本対がん九州地区支部長のコメントを掲載した。
- ・宮崎県庁8号館に「9月はがん征圧月間です」の懸垂幕を掲示した。
- ・テレビCM放映（協会制作の15秒受診勧奨CMを3回/週 9月に放映）
- ・MRTラジオ「スクーパー」に出演し、がん検診啓発を行った。

## ⑤ がん検診無料キャンペーン（デジタルクーポン）

- ・日本対がん協会企画の「がん検診無料キャンペーン」に参加し、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんのデジタルクーポンを周知し、がん検診の受診率向上を図り5がんで35名の利用があった。

## ⑥ 「リレー・フォー・ライフジャパン 2023 宮崎」の支援

- ・「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 宮崎」は、がん患者及びがん経験者を中心にその家族・友人・支援者たちが、同じフィールドトラックを24時間語り合いながら交代で歩き、がん征圧の大切さを社会に訴え寄付を募り、がん征圧のために役立てることを目指すチャリティーイベントである。

開催日 令和5年9月30日（土） 宮崎中央公園

開催内容 大会・式典 12:00~20:00

サバイバーズラップ 13:00~18:00

ルミナリエ点灯 18:00~20:00

主催 (公財) 日本対がん協会

リレー・フォー・ライフジャパン宮崎実行委員会

## ⑦ がん克服者団体支援事業

### ◆子宮頸がん予防のための街頭キャンペーン

「ひめやしの会（患者会）」と共同で4月9日の「子宮の日」の前後に



子宮頸がん予防・啓発を行うため街頭キャンペーンを行った。

開催日時 令和5年4月8日(土) 13:00~14:00

場 所 イオンモール宮崎 北入口(啓発物300セット配布)

## (5) 県委託事業等

### ① 宮崎県健康づくり推進センター管理運営等業務

宮崎県健康づくり推進センターは、宮崎県における健康づくり関連施策を円滑に推進するための専門的かつ技術的中核施設として、保健所、市町村、保険者、企業、民間の健康増進施設等と連携し、県民の健康づくりの基盤整備に資することを目的として県が委託する事業であり、当協会がその委託を受け、必要な事業を行っている。

#### 1) 健康づくりに携わる人材育成

##### ◆ 健康増進計画評価支援事業

「健康日本21(第二次)」及び「健康みやざき行動計画21(第2次)」の積極的推進を図るため、市町村健康増進計画の推進・評価等に関する研修会を行い、市町村における健康づくり施策の推進を図る。

##### ○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>評価支援研修会</b> 「健康日本21(第三次)のねらいと戦略」 「健康日本21(第三次)の栄養・食生活分野の目標達成に向けて:個人へのアプローチと食環境づくり」	令和5年9月8日 県総合保健センター	集合・オンライン 69名
<b>支援者育成研修会</b> 「アルコールの害と減酒支援について」 「(尿ナトカリ比測定が地域住民の血圧に与える効果について)」	令和5年11月13日 県総合保健センター	集合 47名

##### ◆ 健診・保健指導従事者研修事業

医療制度改革により保健事業のあり方が従来と大きく変化し、最新の知見・根拠に基づいた保健事業を行うことが求められている。そのため、地域における保健指導を担うことができる人材を育成し、併せて保健指導実施者のレベルに合わせた養成研修を行う。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>初任者研修会</b> 「特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み」 「生活習慣病・メタボリックシンドロームに関する知識」 「初回面接演習」	令和5年7月3日 県総合保健センター	集合 35名
<b>経験者研修会</b> 「第4期特定健診・特定保健指導に向けた最新情報～より効果的・効率的な保健指導を実施するために～」 「健診結果が示す体の中の変化を可視化し行動変容に導く為に」	令和5年12月12日 県総合保健センター	集合 68名

◆ 母子保健指導員研修事業

母子保健サービスの第一線で活動している関係者を対象に、実践に即した研修会を行うことで地域の母子保健活動の向上を図る。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>母子保健指導者研修会</b> 「不妊治療の現状」 「当事者への心理支援」 「妊孕性温存療法について」	令和5年11月16日 県総合保健センター	集合・オンライン 88名

◆ 健康づくり推進員等育成事業

県民の健康づくりを推進するためには、多くの県民が健康に関心を持てるよう、地域の健康づくり活動の広がりや定着を図る必要がある。このため、各市町村において自主的活動を行っている健康づくり推進員等を対象とした研修会を実施し、さらなる健康長寿社会づくりの推進を目指す。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>健康づくり推進員等研修会</b> 「地域への“参加”と“つながり”づくりで健康長寿」 「地域を元気に！「ばあばの知恵袋さくら」の活動について」	令和5年9月28日 宮崎市民文化ホール	集合・オンライン 208名

◆ 食生活改善推進員育成事業

県内各地で食生活を中心とした健康づくり活動を行う食生活改善推進員に対し、食生活をはじめ、健康づくりに関する最新の情報、知識を習得させ、今後地域活動を実りあるものとするため、研修会を開催する。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>食生活改善推進員研修会</b> 「この人の話を聴いてみたい!」と思って いただく印象UP術」	令和5年5月31日 メディキット県民文 化センター	集合 323名

◆ 運動指導者育成事業

県民の健康づくりの必要な運動に関する知識・技術を習得し、安全で効果的な運動を実践できる健康運動指導士・健康運動実践指導者の育成を目的とし、研修会を開催する。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>健康運動指導士・健康運動実践指導者単 位認定講習会</b> 「高血圧に対する運動療法～運動による血 圧コントロールの機序～」 「高血圧やリスクの高い対象者に対する運 動療法～運動時の注意点と運動の実際～」	令和5年12月18日 県総合保健センター	集合 午前55名 午後59名

2) 健康づくりにおける情報発信・調査研究

◆ 健康情報分析発信事業

県内の健康寿命等、各種健康指標についてデータ分析を行い、ホームページ等を通じて情報発信する。

○実績

- ・ 健康情報の更新  
自殺死亡数推移、3歳、12歳のむし歯の年次推移、主要死因別死亡数
- ・ 健康づくりデータブックの更新  
宮崎県の現状（人口、出生、死亡）
- ・ 市町村健康づくり事業等の取り組み紹介（令和4年度を更新）
- ・ 「宮崎県健康づくり推進センター」ホームページ閲覧数  
表示回数：33,455（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

◆ 地域健康推進研究事業

保健所等における健康増進事業に関して実施された研究調査の成果及び業務を効率的に実施するために工夫した経験等を研究会において発表することにより、関係職員の業務知識及び技術の研鑽を図り、本件健康増進行政の一層の推進に資する。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
<b>第32回宮崎県地域健康推進研究会</b> ○母子保健・健康づくり 6 演題 ○難病・感染症 4 演題 ○精神保健 8 演題	令和5年5月23日 県総合保健センター	集合 午前 69 名 午後 66 名

3) がん検診の受診率向上及び精度管理

◆ がん情報分析発信事業

広く県民に「がん」に関する適切な情報提供を行い、また、市町村が適切ながん対策を進めるために必要となる各種データの整備を行うことにより、がんの予防や早期発見を推進し、がんによる死亡率の減少やがん患者等の QOL の向上を図る。

○実績

- ・「がんネットみやざき」ホームページの情報更新

令和5年度市町村がん検診情報、統計情報、宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会情報

アニメーション動画「ちゃんと知っていますか? 「がん」について」の作成と配信

- ・「がんネットみやざき」ホームページ閲覧数

表示回数：13,062 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

◆ がん検診受診促進事業「がん検診受診率向上プロジェクト」

官民共同でがん検診の受診率向上に取り組む「がん検診受診率向上プロジェクト」を実施するとともに、「ピンクリボン活動みやざき」実行委員会事務局の運営を通して、乳がん検診等の啓発を行う。

○実績

- ・がん検診受診率向上委員会の開催

令和5年6月29日(木) 13:30~15:00

出席：宮崎県がん検診受診率向上プロジェクト推進団体 11 団体 12 名

- ・啓発グッズ(卓上のぼり旗、リーフレット)の作成、配布
- ・がんに関する啓発パネルの作成
- ・ホームページに推進団体のがん検診受診率向上の取り組み掲載
- ・インスタグラム(宮崎県健康 Life 及びみやざきの子育て応援フリーマガジン「ウィズプラス」)へのがんに関する情報掲載

- ・がん予防に関する動画作成と配信及び希望のあった運営・推進団体への DVD 配布
- ・「がん検診受診率向上プロジェクト」ホームページ閲覧数  
表示回数：3, 558（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
- ・ピンクリボン活動みやざき実行委員会事務局運営

#### ◆ 生活習慣病検診管理指導協議会

生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的として協議会を運営する。

##### ○実績

- ・がん検診実施機関及び精密医療機関の登録  
（年2回：4月、10月）
- ・各がん検診精度管理調査結果報告のとりまとめ  
（市町村、集団検診機関、都道府県）
- ・各がん部会の開催
 

胃がん部会	令和6年1月30日（火）19：00～20：30
乳がん部会	令和6年2月1日（木）18：30～20：00
肺がん部会	令和6年2月5日（月）18：30～20：00
子宮がん部会	令和6年2月9日（金）18：30～20：00
大腸がん部会	令和6年3月18日（月）18：30～20：00

#### ② 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防調査・分析事業

糖尿病対策における保険者や医療機関の取組を把握し、経年比較や各団体及び医療圏ごとにとり組を整理することにより、各団体及び医療圏等の今後の課題を抽出し、取組をさらに推進することを目的とする。

##### ○実績

- ・「宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業（令和4年度実績）に係る調査票」の発送（798医療機関）、回収（560医療機関）、集計・分析
- ・NDBオープンデータ（レセプトデータ、特定健診データ）の集計
- ・平成29年度～令和4年度慢性透析患者等の集計
- ・平成30年度～令和4年度身体障害者手帳所持者数の集計

#### ③ 事業所への定期歯科健診推進事業

本県の定期的に歯科健診を受診している者の割合は低く、特に20～40歳代が低い。また、事業所での定期歯科健診実施率も低いため、定期歯科健診を実施する事業所を増加させ、県民が歯科健診を受診できる機会の増加を図るとともに、健康経営の一環として、事業所が定期歯科健診を実施するメリット（従業員の通院による労働損失や歯痛による作業効率の低下防止、医療費抑制効果等の費用対効果）の周知を図る。

##### ○実績

- ・事業所向け研修会  
令和5年10月4日（水）「令和5年度日南地区安全衛生推進大会」

- 参加者数 73名（各所属の事務担当、衛生管理者及び健康管理担当）  
令和5年11月15日（水）「令和5年度宮崎県産業安全衛生大会」  
参加者数 250名（各所属の事務担当、衛生管理者及び健康管理担当）  
・定期歯科健診受診勧奨のチラシ、歯磨きのポイントのチラシと歯ブラシセットの配布 400セット（上記研修会参加者及び所属企業）

#### ④ 宮崎県がん登録事業

宮崎県におけるがんの現状を把握・解析し、総合的ながん対策に役立てるため、宮崎県下全域の居住者に発生した全てのがんについて、その発症から治療、死亡に至るまでの経過に関する情報の収集登録を行った。（令和4年11月1日から当協会が受託）

##### ○実績

- ・がん患者罹患情報の収集、登録
- ・国立がん研究センター、全国がん登録協議会への情報提供
- ・登録した情報の集計及び解析等（2019年宮崎県がん登録報告書の作成）
- ・「宮崎県がん登録室たより」の発行（年2回：6月、1月）
- ・医療機関担当者へのがん登録に関する研修（個別対応：2医療機関）